

< 定点把握対象感染症発生状況(定点医療機関あたり患者数) >

小児科定点(7医療機関)										
疾病名称 【警戒レベル基準】	2022年	2023年								
	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
	12/26~	1/2~	1/9~	1/16~	1/23~	1/30~	2/6~	2/13~	2/20~	2/27~
RSウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.29	0.29	0.00
咽頭結膜熱 【3.00~】	0.29	0.00	0.00	0.43	0.86	0.14	0.00	0.43	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 【8.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.14	0.00
感染性胃腸炎 【20.00~】	5.86	4.14	8.00	11.14	13.71	17.57	14.86	14.29	13.57	19.86
水痘 【2.00~】	0.29	0.14	0.14	0.00	1.86	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病 【5.00~】	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.14	0.14	0.00
伝染性紅斑 【2.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.29	0.00	0.00
突発性発しん	0.29	0.43	0.86	0.86	1.00	0.14	0.29	0.86	0.14	0.57
ハンパルギーナ 【6.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎 【6.00~】	0.00	0.00	0.29	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

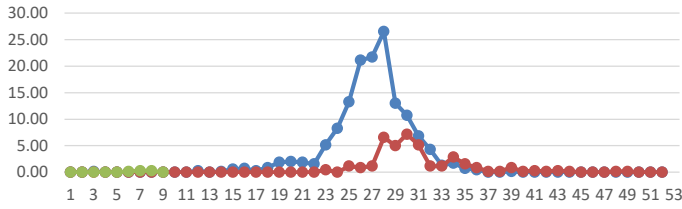
インフルエンザ定点(11医療機関)										
疾病名称 【警戒レベル基準】	2022年	2023年								
	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
	12/26~	1/2~	1/9~	1/16~	1/23~	1/30~	2/6~	2/13~	2/20~	2/27~
インフルエンザ 【30.00~】	1.36	4.64	8.18	13.09	17.45	18.36	22.82	18.36	12.64	7.18

眼科定点(2医療機関)										
疾病名称 【警戒レベル基準】	2022年	2023年								
	52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
	12/26~	1/2~	1/9~	1/16~	1/23~	1/30~	2/6~	2/13~	2/20~	2/27~
急性出血性結膜炎 【1.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎 【8.00~】	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

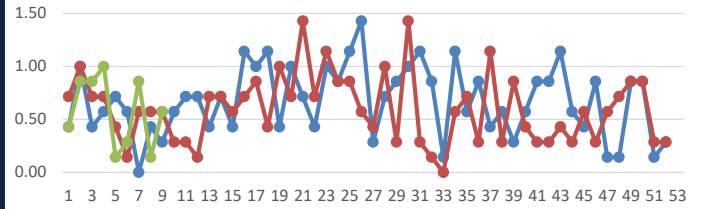
< 全数把握対象感染症発生状況 >

感染症分類	疾病名称	2021年	2022年	2022年	2023年									
				52週	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	
				12/26~	1/2~	1/9~	1/16~	1/23~	1/30~	2/6~	2/13~	2/20~	2/27~	
2類	結核	48	56	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4類	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	8	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
5類	アメーバ赤痢	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	水痘(入院例)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	16	10	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症の発生状況 https://www.city.akashi.lg.jp/hokensyo/h-yobou/corona_2022.html												

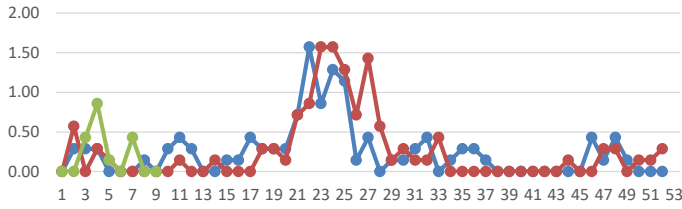
RSウイルス



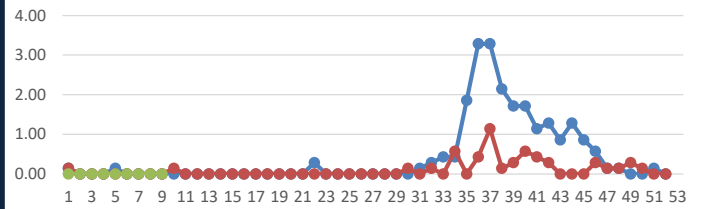
突発性発しん



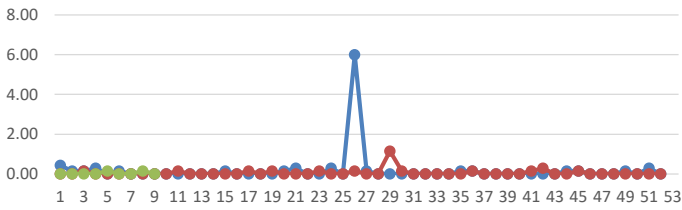
咽頭結膜熱



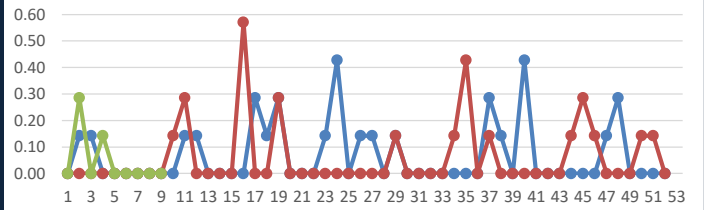
ハンパルギーナ



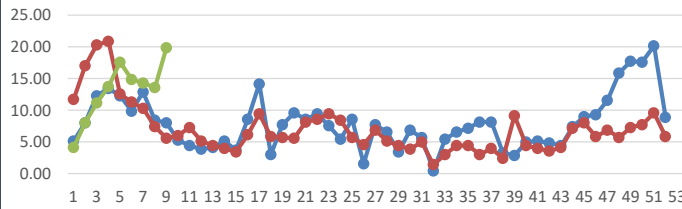
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



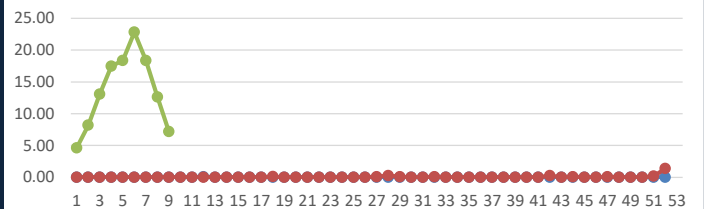
流行性耳下腺炎



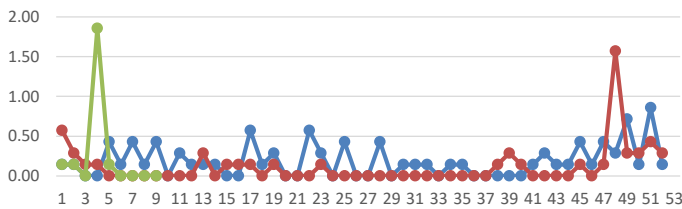
感染性胃腸炎



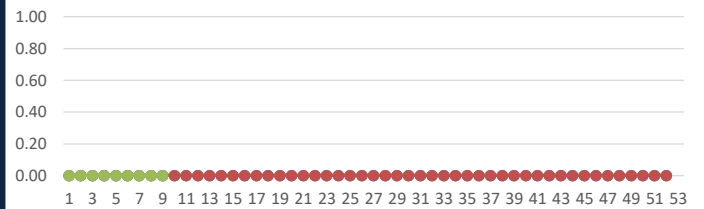
インフルエンザ



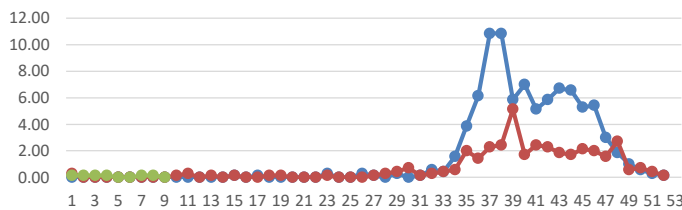
水痘



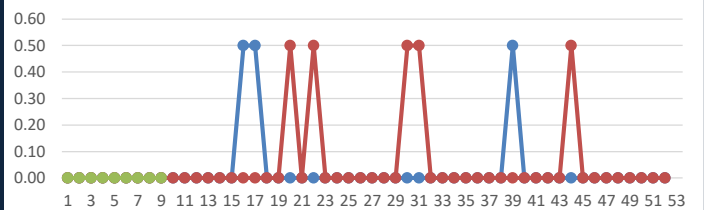
急性出血性結膜炎



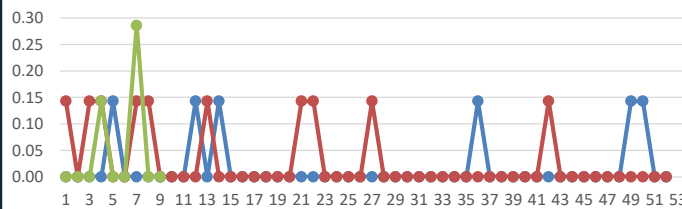
手足口病



流行性角結膜炎



伝染性紅斑



定点把握対象感染症発生状況
(グラフ/過去3年間)

● 2021 ● 2022 ● 2023

流行前から要注意！

ノロウイルス 対策

ノロウイルスの 特徴

- 10月から流行し、冬季にピークが
- 感染力が強く、胃腸炎症状を起こす
- 主な症状は下痢、腹痛、嘔吐



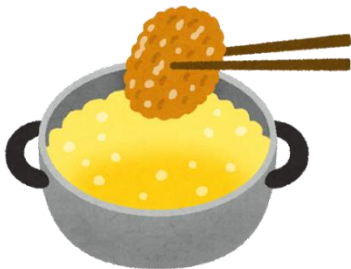
手洗い

外出から戻った時、トイレの後、
食品・食材などを取り扱うときは
こまめに手洗いを行う
(2度洗いが効果的です)



加熱

食品の中心部が
85℃～90℃で90秒以上



洗浄・消毒

中性洗剤で洗浄
次亜塩素酸ナトリウム希釈液に
浸漬



主な症状



腹痛



下痢



嘔吐

○症状がある時に気をつけることは？

1. 早めの受診を。
※下痢止めの薬は回復を遅らせる場合があります。
2. 症状喪失後、便にウイルスは2週間以上排出されます。
3. 入浴は最後にするか、シャワー浴にし、浴槽や洗い場は、洗浄後、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒を。
4. 手ふきタオルやバスタオルの共用は避けましょう。
5. プールや公衆浴場などの利用はしばらく控えましょう。
6. 下痢、嘔吐等の症状がある場合は、調理を控えましょう。

♡吐瀉物処理手順♡



キット持って
来ました



これに
吐いてね



塩素水をかけた紙の玄関を作る

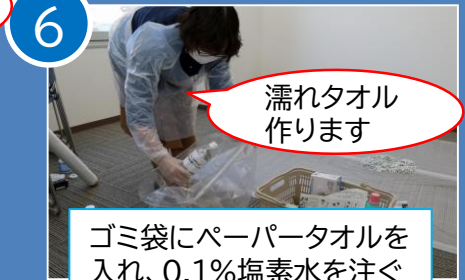


ここで靴底を
拭くんだよ



手袋2重

エプロン・マスク・手袋の順

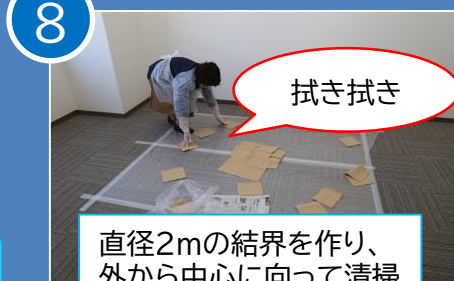


濡れタオル
作ります

ゴミ袋にペーパータオルを
入れ、0.1%塩素水を注ぐ



吐物は紙で覆い塩素液をかける



拭き拭き

直径2mの結界を作り、
外から中心に向かって清掃



ゴミ袋は
二重です



丸めて
ポイ!



ヘラでかき集めます



10分間
待つ

再度、ペーパータオル等で覆い
塩素水をかける



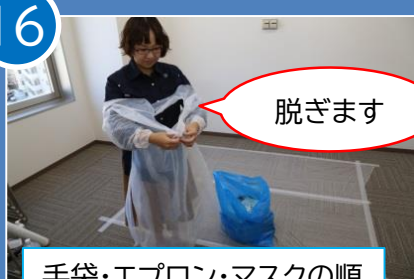
拭き拭き



外側の手袋だけ捨て、内側の
ゴミ袋だけしぼる



必ず玄関を踏んで出ます。



脱ぎます

手袋・エプロン・マスクの順



脱いだものを入れて、外側の
ゴミ袋を縛る



最後に
手洗い

家庭用漂白剤を使った 消毒液の作り方



水500mlに

漂白剤(濃度5%タイプ)を

5ml(ペットボトルの
キャップ ^{1杯} or ^{2杯})



※ 作るときは換気をして、ゴム手袋をはめてください。
製品に記載された「使用上の注意」を読んでから作業を。

どんなところに使えるの？

○ **1杯**: ドアノブ、テーブルなど、手がよく触れる場所



○ **2杯**: 吐物や便などがついた床、衣類など



使用方法は？

ペーパータオルに液を染み込ませ拭いた後、**水拭き**をする

※ 使用時も、換気をしてゴム手袋をはめてください



○ 拭き取り



× 噴霧